

みえ労連

2022年
7月
69号

三重県労働組合総連合

〒514-0015 三重県津市寿町7-50

みえ平和と労働会館 TEL 059-223-2615

E-mail : mieroren@circus.ocn.ne.jp

「憲法いかす平和外交を」と 全自治体へ訴えました



6.22 県庁 左:服部副知事 右:臼井議長・長坂副委員長(自治労連)

みえ労連(臼井議長)は、6月上旬より、ウクライナ侵攻に便乗した「軍備増強」の声が高まる中、地域労連(地域)が主体に、全自治体との「第15回憲法キャラバン」を実施しました。事前アンケートを基に、「過労死ラインなくす」「最賃引き上げ」「ケア労働者の大巾賃上げ」とあわせ、「憲法いかす平和外交を」と訴えました。

事前アンケートでは、ウクライナ侵攻に便乗した動きが強まる中、日本が果たすべき役割として、首長の2人が「憲法9条を活かした『平和外交』の先頭に」、7人の方が「現在の専守防衛を基礎とした外交がよい」、18人の方が「その他」と答えました。

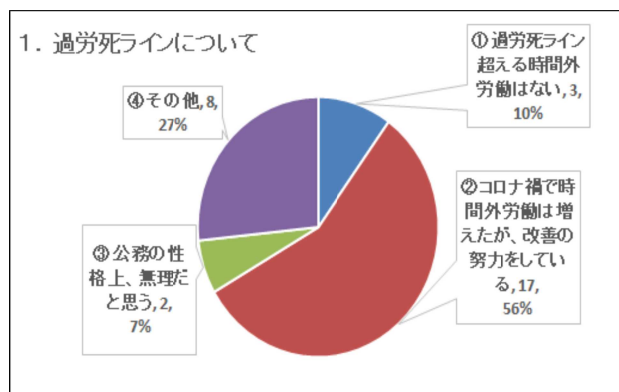
各自治体との懇談では、「外交により問題解決を」「唯一の戦争被爆国として、国際社会の先頭に立って平和を」「9条を守るのが市長の信念」「真っ先に市長も議会もプーチンへ抗議した」などの意見が聞かれました。また「ケア労働者の賃上げ」では、今後も「国が積極的に関与し改善すべき」が半数の15自治体でした。

6月22日(水)、服部・三重県副知事との懇談では、コロナ禍で露わになった自治体の弱点についての県の課題等を懇談し、自治労連本部の長坂副委員長は、「住民のいのちとくらしを守り切る」3つの政策提言について発言しました。

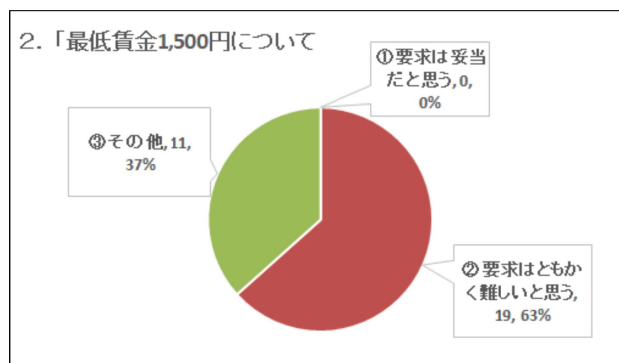
2022 第15回憲法キャラバン

事前アンケート結果

①過労死ラインについて →改善の努力をしている・17自治体



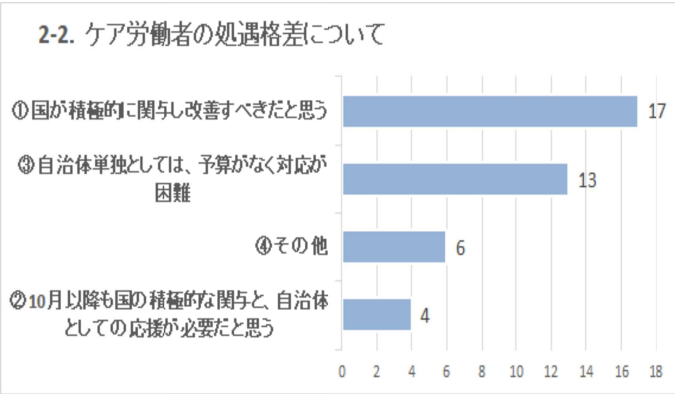
②最低賃金1500円について →要求はともかく難しい・19自治体



第15回憲法キャラバン

各地の懇談

②-2 ケア労働者の処遇改善について →国が積極的に関与・17自治体



【北勢地域】

6/3:四日市市:加納・自治労連、伊藤・みえ労連幹事、芳野・北勢労連議長、加藤幹事

憲法キャラバン15年、「過労死なくす方策を」「最低賃金1500円引き上げ」「保育・介護が多産業より約6万円低い、愛知は保育では名古屋市など59%の市町が公私間は同等であり、大幅な差があり、格差の広がり人口減の原因になった」と説明。自治体へ改善を訴えました。

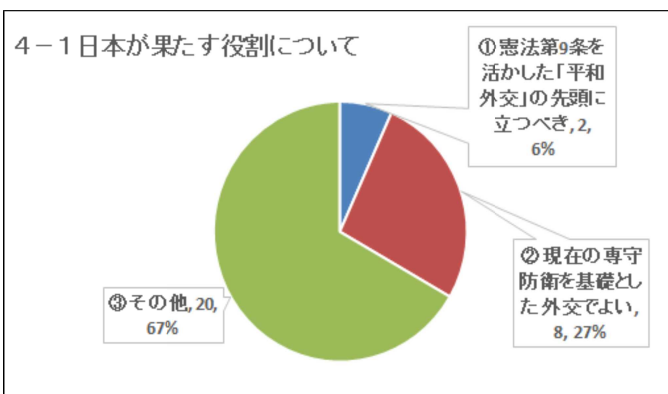
(北勢地域労連・芳野)

③ コロナによって明らかになった自治体の1番の弱点と課題は?

- 「人員不足・体制」=東員町、鈴鹿市、伊賀市、大台町、鳥羽市、熊野市、御浜町、三重県
- 「学校教育」=桑名市、津市、伊賀市、伊勢市、鳥羽市、度会町、三重県
- 「関係団体との協力・連携」=桑名市、川越町、津市、名張市、三重県

④ 日本が果たす役割について →平和外交の先頭に・2自治体 →専守防衛を基礎に・8自治体

④-2 9条改定について 「9条を守るべき」→ 2自治体 「改定して防衛力を高めるべき」→7自治体



【鈴亀地域】



6月6日、亀山市との懇談は、市は佐藤総務課長他、鈴亀労連は向井、吉田(写真左)が参加しました。

「コロナで業務が一気に増えた(ワクチン接種、交付金の支給等)ものの、応援体制やテレワークの整備で、平均有給休暇13日を達成した。」憲法9条、市長の回答「日本の出番」は、「国連の無力さを感じる中で平和憲法の考え方を世界に広げるとい意味だと思う」など、踏み込んだ懇談となりました。

(鈴亀地域労連・吉田)

「小さな自治体では支援は限界」など、率直な懇談

【南勢地域】

南勢地域労連は、池田議長と西岡が6月3日、7日に伊勢・鳥羽・志摩市の3市を訪問し、懇談しました。

最賃問題では、今春の商工会議所との懇談を報告し、コロナ禍の観光業者の経営支援の状況を聞きました。ケア労働者の処遇改善についても、10月以降の政府支援について、「選挙がすめばすぐに梯子を外すだろう。やってられない」など、小さな自治体の悩みが聞きました。鳥羽市では、知床観光船の出来事にも厳しい指摘がありました。

(南勢地域労連・西岡)

名張市立病院を守りよくなる会 名張市立病院と懇談

アンケート1,704人の市民の声を聞いてください



懇談に出席した名張市立病院のみなさん

5月31日「名張市立病院を守りよくなる会」は市立病院と懇談しました。病院側は、吉岡副院長他、「よくなる会」側は、内橋さん(新婦人の会名張支部)等が出席。市民の1700通を超える驚愕のアンケートのまとめについて「会」が説明し、市民の声を聞いて欲しいと要請しました。

病院側は、①院長には「市民アンケート」を渡している。すべての議員に配布している。②「在り方検討委員会」では、委員の意見をこれから出していくことになる。③名張市には市立病院のみ。人口減で将来的には伊賀市名張市併せて10万人。市民を守ることが第一。そのためにふさわしい病院を目指していく。等と答えました。

今後、「会」は、市長、地域医師会等と懇談を進め、市民アンケートの結果を伝える予定です。

(伊賀名張賀ユニオン・大塚)

会計年度職員の継続雇用 【東紀州地域】 正規の定年制対応は？

東紀州では、3年目を迎える会計年度任用職員についての雇用の継続を聞きました。「評価を行って継続雇用への配慮」「公募をかけても募集に集まらない」の率直な声を聞きました。

コロナ対策については、感染の大きな広がりがなく、大きな混乱はなく対応が進んだことなどでした。

また、自治体正規職員の「65歳定年制」の準備を聞いたところ、①ほとんどが12月議会への条例提案、②7割への減額、③業務の整理などの検討は今から、④職員への説明は「骨子が固まってから」など、国の急な制度改正への対応が遅れていることが明らかになりました。労働組合からの制度提案が急がれます。(自治体一般・笹ノ内)

東海・北信最低賃金 キャラバン=労働局要請

「1,500円は世界の流れ」と要請



左:久保田賃金室長 右:臼井議長

コロナ禍
他県の応援を受けて

6月23・24日、東海北陸ブロックの最賃キャラバンは、三重の労働局に要請を行い懇談しました。静岡・愛知・岐阜の代表と、三重からは、臼井議長と高岡が参加しました。

今回の要請項目は、①最賃1500円、②全国一律最賃、③中小企業支援策、④労働者代表委員に非正規の代表を、また女性を4割に、⑤専門部会の公開と女性や非正規の意見陳述を、⑥日程・改選などの情報提供を、⑦職員の増員を、など7項目でした。

三重労働局からは、久保田賃金室長らが対応し、要請事項について本省や三重地方最低賃審議会に伝えると回答しました。

懇談では、今年の物価上昇にはかなりの危機感を持っていることや、地域間格差は「最賃が県によって異なるせいだ」などの点では共通の認識になっていると感じられました。

また、労働局の人員不足に対しては、「労働行政、ひいては労働者にしわ寄せが来る。現に監督官がすべての企業を見ようとすると「千年かかっても終わらない」という笑えない事態になっている等、懇談が進みました。

(みえ労連・高岡)

安倍晋三元首相への 銃撃に抗議する

元首相が、テロで亡くなるという事態はあってはならないことです。これは、意見に違いがあっても受け入れる民主主義の根幹にかかわることで、今回の行為に対し強く抗議します。

みえ労連議長 臼井照男

2022年原水爆禁止国民平和行進・三重

高校生が「菰野町非核都市宣言」を読み上げ、三重県在住ウクライナ女性がスピーチ

2022年国民平和行進「和歌山→広島コース」は6月8日三重県入りし、紀宝町で和歌山県から旗を引き継ぎました。

●行進団は8日、東紀州路の七つの自治体を訪問し、懇談や歓迎式で自治体と共同を深めました。



紀宝町役場前で和歌山から引き継ぎ

●今年の三重県の平和行進の特徴の一つは、三友会(三重県原爆被災者の会)のがんばりです。ロシアによるウクライナ侵略と核兵器使用の脅迫に被爆者として黙っていられないと、山口同会長は東紀州路の全自治体訪問に同行、さらに鳥羽市、津市の行進・集会にも連日のように参加されています。

●紀宝町、御浜町では町長・議長の出迎えと挨拶を受け、ペナントと協賛金を受け取りました。御浜町と紀北町では町職組からも行進団への募金を頂きました。

●熊野市からは市長・議長からメッセージと協賛金、ペナントを頂戴しました。国道沿いでスタンディングを実施し、ドライバーの注目を集めました。



御浜町役場の第五福竜丸エンジン引き揚げ記念碑前の山口詔利三友会会長



朝日町役場前で訴えるウクライナ人のアンナさん。

●尾鷲市では副市長と懇談。市長・議長からの協賛金とペナントを受け取り、庁舎前で自治労連の組合員などでスタンディングを行いました。

●10日は志摩市と鳥羽市を行進。鳥羽市は庁舎前で市主催の歓迎式があり、市長と議長が出迎えて激励の挨拶をされました。志摩市でも庁舎前で市長メッセージを頂きました。

●三重県の行進は10日に北勢コースの「いなべ→東員」コースを皮切りに、11日菰野コースの後、12日から桑名→四日市コースも始まり、鈴鹿→津へと南下しました。南勢コースは13日伊勢市、14日松阪市、同14日に南勢・北勢・久居の3コースが津市で合流しました。

●北勢コースの菰野町では庁舎内で町長・議長・教育長が参加した町ぐるみの集会と行進になり、出発集会では3人の高校生が「菰野町非核都市宣言」を読み上げ、ここでも県在住のウクライナ女性2人によるスピーチと行進の参加もあり、参加者の感動を呼びました。



鳥羽市役所前の歓迎式。右・市長。その左・議長。

みえ労連第34回定期大会

2022年9月17日(土) サンワーク津